

木津川市の公共交通に係る総合的な計画の策定について

1. 計画策定事業者の決定について

(1) 選定方法

公募型プロポーザル方式により選定

(2) 契約者

株式会社 地域未来研究所

(3) 業務期間

平成26年5月28日～平成27年3月27日

2. 公共交通に係る計画策定の概要について

(1) 計画策定の目的

現行の木津川市における公共交通形成に係る計画「木津川市地域公共交通総合連携計画」の計画期間は、平成27年3月までとなっている。

平成27年4月以降においても現行計画を引き継ぎ、公共交通の維持・活性化に資する事業を計画的、かつ各主体が責任を持って推進し、利便性の向上と効率的な運行を目指すために、新たな公共交通に係る総合的な計画を策定する。

(2) 計画期間

平成27年4月～平成32年3月（5年）

(3) 計画の主たる記載事項

1. 計画の基本的な方針
2. 計画の目標
3. 目標を達成するために行う事業及び実施主体
4. 計画の達成状況の評価

(4) 計画策定の流れ

各種統計指標分析や実態調査により、当市の地域公共交通に関する課題整理を行うとともに、その結果を踏まえた上で、当該地域にとって最適な公共交通のあり方や事業等について検討し、計画をとりまとめる。

また、計画とりまとめに際しては、計画（中間案）の段階でパブリックコメントを実施し、市民からの意見を反映させるものとする。

次頁に、計画策定の流れ（フロー図）を示す。

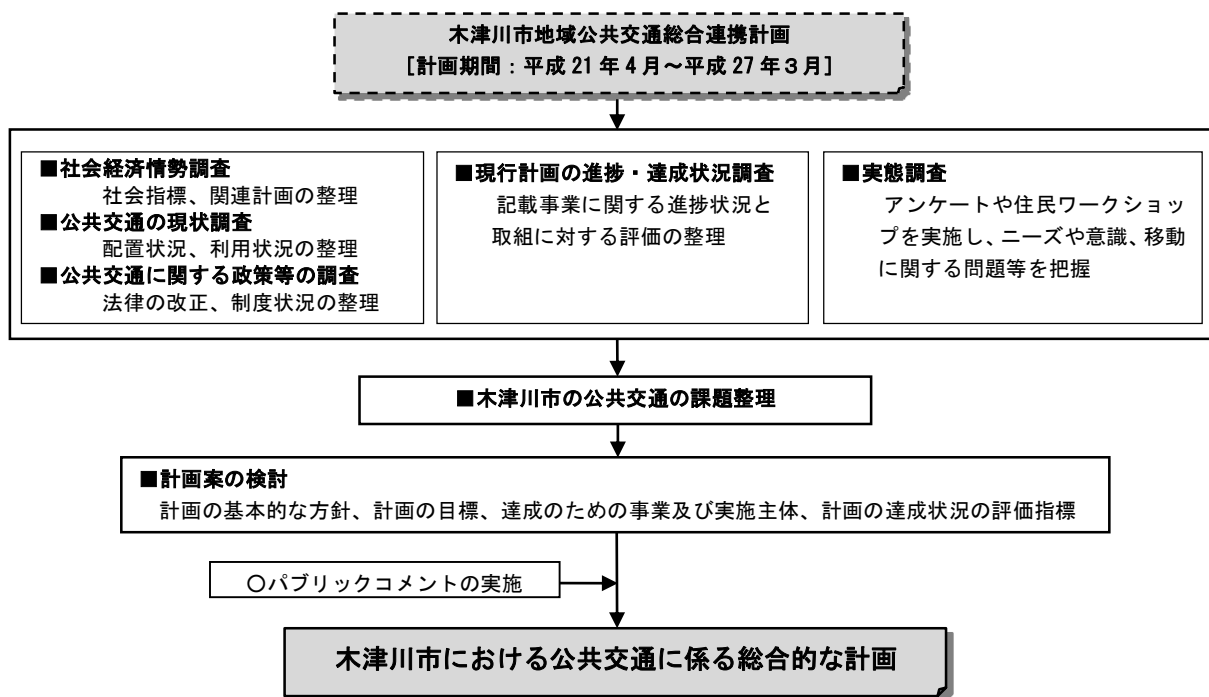


図 計画策定の流れ

(5) 実態調査の実施概要（案）について

地域公共交通に係る実態や課題把握のために、次の実態調査を実施する。

手 法	対 象
1. アンケート調査	①住民、②バス利用者、③生活施設等来訪者
2. ワークショップ	①住民

1-①. 住民アンケート

【調査の狙い】
多くの市民を調査対象とすることで、公共交通サービス全体に対する市民の意向を把握する。また、公共交通の利用状況や現行計画期間における利用の変化、その要因などを確認する。

(対象) 市内居住者

(配布件数) 約3,200人

(抽出手法) 住民基本台帳より無作為抽出

(配布回収方法) 郵送配布／郵送回収

1-②. バス利用者アンケート

【調査の狙い】

日常生活でのコミュニティバスの使われ方や、利用者による評価、課題等を確認する。

(対象) コミュニティバス利用者

(配布件数) 約500人

(配布方法) 乗車が多いバス停留所にて調査員が手渡しで配布、または車内にて乗務員が手渡しで配布し、郵送による回収を予定。

※路線別の具体的な手法は、別途、交通事業者との調整の上で決定。

1-③. 生活施設等訪問者アンケート

【調査の狙い】

市内で特に集客が多い施設（病院、商業施設）の来訪者に、公共交通の問題点や要望などを確認する。

また、観光地である当尾エリアの来訪者に、交通手段と利用理由、またバスの認知度等を確認する。

(対象) 主な病院や商業施設、観光地（それぞれ1箇所）の来訪者
(計3箇所)

(実施方法) 施設周辺にて、調査員がヒアリング調査を実施。

実施は、病院、商業施設は平日1日、観光地は休日1日を予定。

2-①. 住民ワークショップ

【調査の狙い】

生活移動に関する地域特有の問題や要望など、アンケート調査手法からでは把握できないような具体的な意見を確認する。

(対象) コミュニティバスを利用する住民や老人会等の高齢者団体など

(実施方法) 市内3箇所程度で開催を予定。

事務局がコミュニティバスの利用状況などを説明した後、地域の交通課題などについて意見交換をおこなう。(その際、数人のグループ分けをするなど、参加者が話しやすい環境を整える。)

(6) スケジュール

別紙スケジュール案のとおり

木津川市の公共交通に係る総合的な計画 策定スケジュール(案)

